

## 8月から9月は平年を上回る土砂災害が発生 ～令和4年の土砂災害発生件数の速報値を公表～

令和4年には、42の道府県で788件\*の土砂災害が発生した。

8月から9月までの期間の合計では、32道県で524件の土砂災害が発生し、直近10年(H24-R3)の同期間における平均発生件数(366件)を上回った。

※ 土石流等、地すべり、がけ崩れが発生した件数(火砕流は除く)。1月1日から12月21日までの速報値。

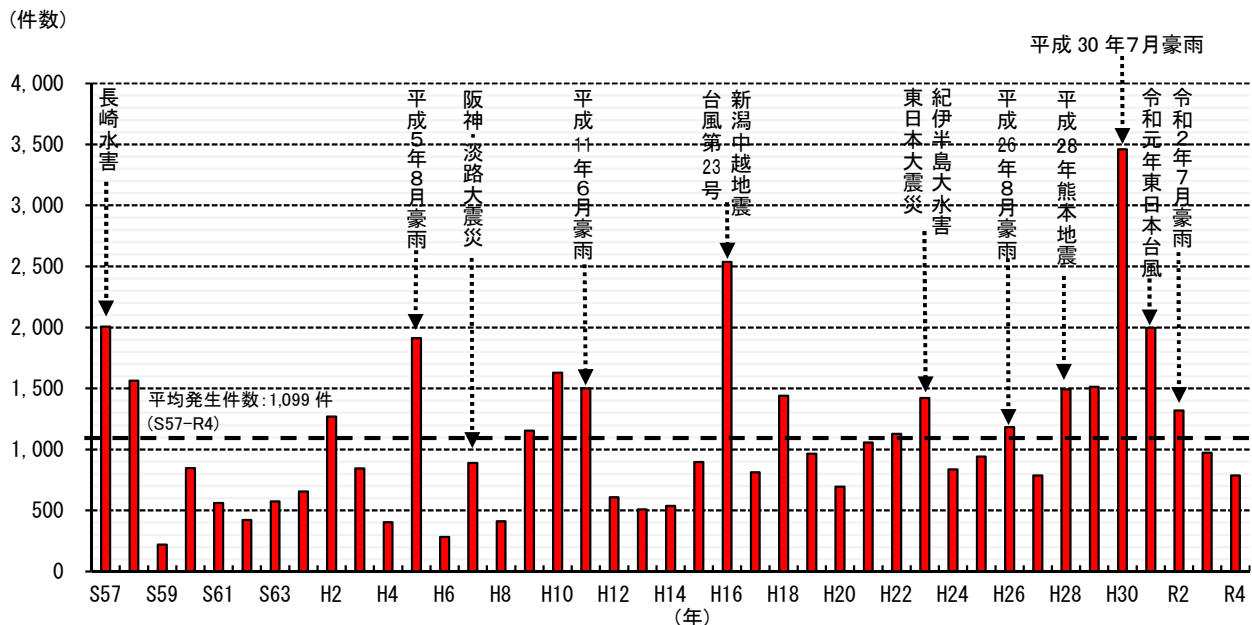


図. 土砂災害発生件数の推移 (S57～R4)

### 【今年の土砂災害】

42道府県で788件の土砂災害が発生し、死者2名、人家被害284戸の被害が生じた。

8月・9月の合計では、32道県で524件の土砂災害が発生し、直近10年(H24-R3)の同期間の平均発生件数(366件)を上回った。

8月3日からの大雨は全国各地の36のアメダス観測地点で1時間降水量の観測史上1位を更新、その結果、土砂災害が局所的かつ集中的に発生した。

台風第15号では全数の9割以上の167件の土砂災害が静岡県で発生した。これは単一の台風、単一の県で発生した件数として歴代2位であった。※1位は令和元年東日本台風での宮城県の254件。

(問い合わせ先)

国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部 保全課 土砂災害対策室

課長補佐 後藤 健(内線 36232) 係長 仁平 啓介(内線 36244)

代表:03-5253-8111 直通:03-5253-8470 FAX:03-5253-1611

土砂災害に関する情報は、砂防部HP : <https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/index.html>

- 令和4年には、42の道府県で788件の土砂災害が発生し、死者2名、人家被害284戸の被害が生じた。
- 8月・9月の合計では、32道県で524件の土砂災害が発生し、直近10年（H24-R3）の同期間の平均発生件数（366件）を上回った。（8月：214件、9月：310件）
- 台風第15号では全数の9割以上の167件の土砂災害が静岡県で発生した。これは単一の台風、単一の県で発生した件数として歴代2位であった。
- 土石流等を捕捉した報告が50事例あり、これまでの着実な施設整備の効果があらわれている。（各事例については、砂防部HPで公開中 [https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/sabo01\\_tk\\_000026.html](https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/sabo01_tk_000026.html)）

土砂災害発生件数

788件

- 土石流等：198件
- 地すべり：39件
- がけ崩れ：551件

【被害状況】

- 人的被害：死者 2名
- 負傷者 6名
- 人家被害：全壊 31戸
- 半壊 34戸
- 一部損壊 219戸

表1. 都道府県別の土砂災害発生件数 上位5県（速報値）

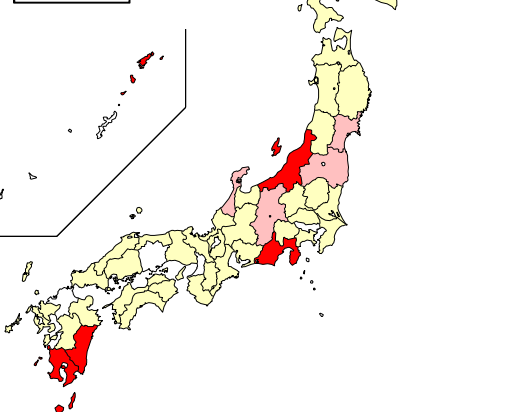
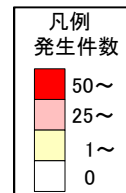
	都道府県	件数	死者数	過去10年最多 (H24-R3)
1位	静岡県	211件	1名	87件 (R1)
2位	新潟県	77件	—	195件 (H29)
3位	宮崎県	70件	1名	127件 (H28)
4位	鹿児島県	68件	—	202件 (R1)
5位	宮城県	33件	—	261件 (R1)

※これは速報値であり、今後数値等は変わる可能性があります。



気象現象別発生件数

8月3日からの大雨	：212件
台風第15号	：182件
台風第14号	：111件



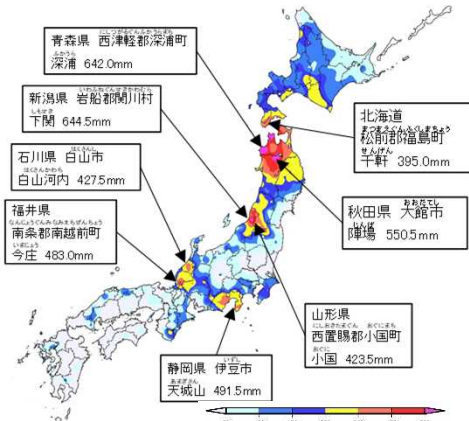
防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策で整備した砂防堰堤が土石流を捕捉

令和4年の土砂災害発生状況

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策で整備した急傾斜地崩壊防止施設が土砂等を捕捉



○8月3日から27日にかけて日本全国で断続的に大雨が降り22道県で212件の土砂災害が発生。  
 ○顕著な被害のあった近年の災害に比べ土砂災害発生件数は少ないものの、全国各地の36のアメダス観測地点で1時間降水量の観測史上1位を更新、その結果、土砂災害が局所的かつ集中的に発生したことが今回の災害の特徴と言える。  
 ○また、近年の災害の特徴である土石流と共に流れる流木により被害が拡大した事例が見られた。  
 ○新潟県村上市の小岩内地区では甚大な被害が生じたものの、砂防関係施設が一定程度の効果を発揮していたこと、適切な避難行動により犠牲者はでなかったことが確認された。



8月3日からの大雨と近年顕著な被害のあった大雨における観測史上1位の値を更新した観測点数と土砂災害発生件数の比較

	今回の大雨 (令和4年8月)	平成23年7月 新潟・福島豪雨	平成30年7月 西日本豪雨	令和元年 東日本台風
24時間降水量	31地点	8地点	77地点	103地点
3時間降水量	30地点	15地点	16地点	40地点
1時間降水量	36地点	15地点	14地点	9地点
土砂災害発生件数	212件	268件	2581件	952件

アメダスの主な地点の総降水量(令和4年8月1日から8月14日まで)【出典:気象庁】

### 8月3日からの大雨における土砂災害発生件数

(8月3日~27日発生を集計)

#### 土砂災害発生件数

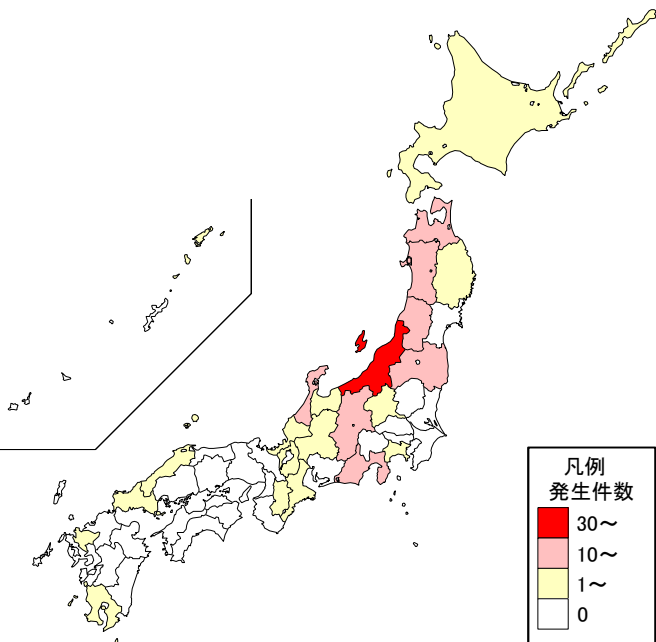
**212件(22道県)**  
 (土石流等: 94件)  
 (地すべり: 14件)  
 (がけ崩れ: 104件)

#### 【被害状況】

人的被害: 負傷者 1名  
 家屋被害: 全壊 10戸  
 半壊 6戸  
 一部損壊 72戸

#### 発生件数上位5県

新潟県 64件  
 石川県 23件  
 青森県 18件  
 福島県 17件  
 長野県 17件



#### ○地域毎の発生状況

北海道: 3件、東北: 65件、関東: 20件、  
 北陸: 92件、中部: 15件、近畿: 10件、  
 中国: 2件、四国: 0件、九州: 5件、  
 沖縄: 0件

### 新潟県村上市小岩内地区の事例

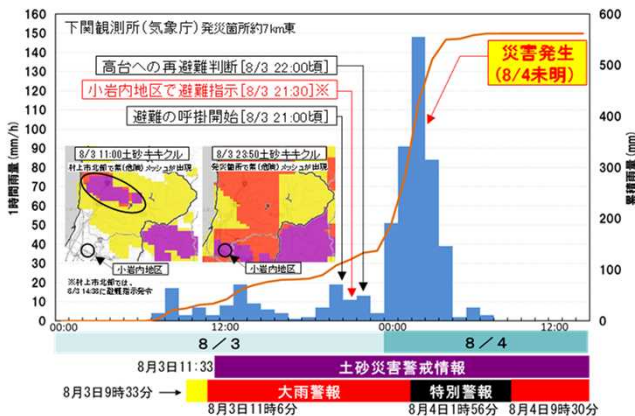
最上流部では大雨の影響で山腹斜面の崩壊が多発



中流部では砂防堰堤が大量の流木・土砂を捕捉



下流部では地区役員による住宅1軒ずつへの避難の呼びかけと、避難後の昭和42年羽越水害を教訓とした高台への再避難の実施により犠牲者はでなかった



これは速報値であり、今後数値は変わる可能性があります。

地域	都道府県	発生件数
○北海道	北海道	4件
○東北	青森県	18件
	岩手県	11件
	宮城県	33件
	秋田県	14件
	山形県	13件
	福島県	27件
○関東	茨城県	1件
	栃木県	1件
	群馬県	2件
	埼玉県	3件
	千葉県	23件
	東京都	0件
	神奈川県	18件
	山梨県	1件
	長野県	27件
○北陸	新潟県	77件
	富山県	13件
	石川県	29件
○中部	岐阜県	5件
	静岡県	211件
	愛知県	9件
	三重県	13件

地域	都道府県	発生件数
○近畿	福井県	8件
	滋賀県	1件
	京都府	6件
	大阪府	0件
	兵庫県	2件
	奈良県	2件
	和歌山県	2件
○中国	鳥取県	2件
	島根県	7件
	岡山県	0件
	広島県	7件
	山口県	10件
○四国	徳島県	4件
	香川県	1件
	愛媛県	2件
	高知県	22件
○九州	福岡県	0件
	佐賀県	1件
	長崎県	4件
	熊本県	6件
	大分県	10件
	宮崎県	70件
	鹿児島県	68件
○沖縄	沖縄県	0件

計:788件